

学校生活上の留意点

2024/12/1 生徒指導部

1. 服装

・制服の着用について

倉高生としての自覚を持ち、日頃から身だしなみを整える習慣を3年間で確立させる。

(質素、清潔を旨とし、品格ある容姿を尊び端正で華美にわたらぬよう努める)

本校指定の制服・制帽を着用すること。

制服の種類については

【冬季服装】

- ① 上下ともに冬服の上着、ズボン、スカート、スラックスを着用する。
- ② 男子は上着を脱ぐ場合は、白（無地）の長袖カッターシャツを着用する。
女子は、指定のブラウスとする。
- ③ 気候に応じて、制服の下に本校指定のカーディガンを着用してもよい。
校内においては、上着を脱ぎ②・③の服装でもよい。
- ④ ストッキングを着用する場合は、ベージュか黒色のどちらかとする。

制服の中に着用しているものは学生服の下から見えないように着用するのがのぞましい。

【夏季服装】

- ① 男子は上下霜降りの制服を着用する。
- ② 女子は夏服（スカート or スラックス）の上に本校指定のブラウスを着用する。

（夏季略装）

- ① 本校指定の半袖開襟シャツを着用する。（男子）

シャツの下に着用する下着は、無地で華美でないものがのぞましい。

カーディガンを着用してもよい。

2. 頭 髪

○望ましい髪型について

- ① 髪色を変えてはならない。
- ② 前髪は目にかからない長さ。
- ③ 耳や襟にかからない長さ。
- ④ 肩より長い髪はむすぶこと。
- ⑤ 清潔感のある整え方。

●好ましくない髪型

- ① 整髪料・アイロン等の使用。
- ② 脱色・染色。
- ③ 前髪が目にかかる。襟足、もみあげが長い。
- ④ 装飾的な髪留めの使用や髪型の加工。
- ⑤ 肩より長い髪を結んでいない。

眉毛を剃ったり抜いたりして細くしない。

襟にかかる髪は黒・紺・茶色のゴムで結ぶ。

前髪は目を超えないようにする。伸ばす場合は、黒のヘアピンで留める。

* 身だしなみが、「きちんと正しく」整えられていることで、社会から信頼され、安心されるそうです。制服をきちんと正しく着こなし、頭髪を整えていることで、自分自身の第一印象が高まるだけでなく、「小倉高校」全体のイメージも高まります。毎日着る制服で、社会のマナーや身だしなみを整えることの大切さを身につけましょう。

3. その他

【登校靴】

- ① 華美でないシューズまたは、市販の黒の革靴（ローファー）
- ② 靴下は、白・黒・紺の無地。ワンポイント可。

【防寒具】

- ① 手袋、マフラー、ネックウォーマーについては、制服に合う華美でないものがのぞましい。
- ② コートは、制服に合う華美でないものを着用する。（校内では着用しない）
- ③ 自転車通学の生徒は、安全上の面からネックウォーマーのみ着用とする。

【鞆】

- ① 華美でない鞆（リュックサック）が望ましい。
サブバック（指定）を使用してもよい。

キーホルダー等は1個まで付けてよい。他人の物と間違わないようにするという趣旨を理解したうえで判断し付けてもよい。

4. 学校生活上の留意点（校則）の改定

学校生活上の留意点（校則）の改定手続きは以下のとおりである。

- 1 生徒会長又は学級総務から、全校委員会において改定の発議を行う。
- 2 全校委員会において、発議内容を議論の対象とするかどうかを決定する。
- 3 議論の対象となった場合は、各学級で発議内容について議論する。学級総務は議長として学級の意見を集約する。
- 4 全校委員会において、各学級の意見を集約し、改定の必要性について検討する。
- 5 発議内容について全校委員会で出席者の3分の2以上の賛意が得られれば、全校委員会議長が生徒指導主事にその旨を報告する。
- 6 生徒指導課を中心に教職員で協議を行い、その結果を校長に報告する。
- 7 校長が発議内容を認めれば、学校生活上の留意点（校則）を改定する。